

自然フィールドたび倶楽部 ツアーのご案内

～2016年 春編～

もはや海外？
国境の島

人気の“楽しい島流シリーズ”第1弾

～大陸文化漂う 春の花咲く、国境の島へ～

海に洗われた絶景の島・歴史とロマンの山路を歩く

「対馬の山々と杵岐の旅 5日間」

3/27(日)～3/31(木) 最少催行6名



スダジの巨木に包まれて・・・
(龍良山原生林)

朝鮮半島まで約 50 km。日本本土よりも韓国に近いという国境の島『対馬』。古くから大陸の影響を受けてきた歴史と文化にあふれ、海に洗われたリアス式海岸が美しい、自然と文化が合流する島。島のほとんどを森林と山が占める、まさに“山と森の島”。低山ながら古来より霊山として信仰に守られてきた山々の山麓には、原生林が点在します。島とは思えない山々の景観に圧倒されることでしょう。

となりの『杵岐』は、一変する穏やかな島で「魏志倭人伝」にも「一支国(いきこく)の名で登場する太古より様々な歴史を秘めたロマンの島。島の自然を楽しみながら、日本古来の歴史と大陸文化に触れます。季節はゲンカイツツジ咲く春、日本で一番大陸に近い島々に、一緒に流されてみませんか？ 玄界灘で洗われた海の幸もお楽しみ！

見どころ

- 対馬では、山麓に太古の縄文時代の生き残り、巨木が残る龍良山原生林で自然ガイドと共に散策。
- モミの原生林に包まれたツシマヤマネコが生息する対馬で最も深い森を持つ「御岳」と、一の丸二の丸など城壁が残る「清水山」で殿様気分を味わう低山ハイク。
- 大陸系から本土種、特産種が混生する自然、ゲンカイツツジや北限ナンザンスミレの仲間など春の花ウォッチング。
- 『対馬』と異なる穏やかな島『杵岐』では、古墳などの史跡巡りで“歴史教科書”のような両島の環境や景観、歩んできた歴史等、**二つの島を比較**。
- 対馬に3連泊、杵岐に1泊のじっくり旅。
 - 現地の自然&歴史ガイドがポイントを案内。

- ①千歳(午前)→福岡→博多港(午後)→対馬(夕)[対馬泊]
- ② 御岳ハイキング→北部の観光 [対馬・南部泊]
- ③龍良山原生林散策→南部の散策と観光 [同上泊]
- ④清水山低山ハイク→対馬(午後)→杵岐(午後)散策[杵岐泊]
- ⑤散策&観光→杵岐(昼)→博多港(午後)→福岡→千歳(夜)

東京都民・ミシュランガイド3つ★の山 スミレの宝庫を訪ねて

～スミレ街道で ひと足先に花三昧～

「高尾山 春の花ハイキング 3日間」

4月11日(月)～13(水) (最少人員6名)

都心から1時間の高尾山、そのアクセスの良さと自然の豊かさに昔から都民に親しまれた山が、2007年にミシュランガイドで「三ツ星」観光地に選ばれてから、東京とは思えぬ四季豊かな自然を求めて世界各国から年間300万人の登山客が訪れる世界一登山客の多い山になりました。そんな一大観光地ですが、地元では知る人ぞ知る“春の高尾山は、すみれの山”と言われるほど、いろいろなスミレが一同に見られます。中でも高尾の名を持つ“タカオスミレ”や、葉っぱの形が変わったエイザンスミレ、北海道では見られないフモトスミレなどその種類は約40。他にもハナネコメソウやヤマリソウなど春の花が満載。終日じっくり現地ガイドと一緒にゆっくり楽しめます。また同じ八王子の隠れたお花見スポット・森林研究の樹木園「多摩森林科学園」の広大な敷地に、全国各地の桜1700種の“サクラ保存林”がちょうど見頃を迎えます。さらにお隣埼玉には100万株のサクラソウとそれに負けない数のノウルシが咲く「サクラソウの自生地」も合わせて訪れます。ひと足先に春の花々とお花見、いかがでしょうか。

- ①千歳(午前)→羽田(昼)→八王子→多摩森林科学園にて散策(約2h) [八王子泊]
- ②高尾山、春の花ハイキング(終日/※コースはスミレの開花に合わせて) [八王子泊]
- ③サクラソウ自生地にて(約2h)→羽田(夕)→千歳(夜)



ヒカゲスミレの葉が茶色に変色した変種と言われる「タカオスミレ」

新コース

春の恒例

◆ 一度は行ってみたい！ 高知・牧野植物園を訪ねて
春爛漫・ツツジ咲き乱れる南国土佐 植物三昧の旅

「牧野植物園 と 春の野山と海辺を楽しむ 4日間」

4/18 (月) ~ 21 (木) 限定7名 (※高知2回目割引あり)



川岸のみに咲く「キンツツジ」

黒潮に育まれた南国土佐は、この季節どこへ行っても花が咲き出し一番良い季節。特に様々なツツジの仲間が土佐を埋める季節と言っても過言ではないでしょう。ツツジは日本全国で見られる植物ですが、高知は標高や環境でその種類が変わり、様々なツツジが一度に出会えるところです。さらに照葉樹の芽吹きが森を彩り、北海道や東日本ではお目にかかれない新緑の光景が迎えてくれます。車窓から眺めているだけでも美しい季節です。

日本一を誇る牧野植物園を訪れ、標高や環境で変わる春の植物たちにスポットを当てながら、海岸線から野山までを訪ねます。現地では、高知の植物第一人者の達人が同行し、穴場を案内。一度は牧野植物園へ行ってみたいと思っている方、四国の植物をじっくり見てみたい方、山の花も好きな方必見！の春の花旅。



北海道では見られない「イチリンソウ」

田んぼのあぜ道も楽しい♪



テンナンショウのイメージがらりと変わる「ユキモチソウ」

- ①千歳(朝)→羽田→高知(昼)→牧野植物園見学(午後) [高知市内泊]
- ②室戸岬にて海浜性植物の散策(午前)→シダの洞窟散策(午後)→梶ヶ森へ移動&散策 [梶ヶ森泊]
- ③山野を移動しながらキンツツジやアケボノツツジなど春の花ウォッチング&散策 [桂浜泊]
- ④妹背峠から蛇紋岩地等の錦山公園への散策(午前)→高知(午後)→羽田→千歳(夕)

◆ “楽しい島流しシリーズ”に、新企画が登場！

世界遺産の島 2大ポイントで“原始の森”を歩く

「屋久島 ネイチャーハイキング4日間」

5月9日(月)~12(木) (最少催行6名)

新企画

日本の世界遺産の中でも、人気の絶えないのが『屋久島』。太古から残る巨木屋久杉などがあまりにも有名。でも本来、屋久島が世界遺産に登録されたのは、島の90%を占める“森”の特異性。亜熱帯ジャングルのある海岸線から照葉樹林に屋久杉林、さらに宮之浦岳など山々が連なる亜寒帯の森林限界を越えた地域までの“植生分布”が島の中にコンパクトに残されていることです。そんな視点にポイントを置き、屋久杉の聖地と、亜熱帯世界の異なる2か所に絞り、登山などで混み合う白谷雲水峡などは避け、屋久島の自然にじっくり触れられるエリアを訪れます。季節は新緑のベストシーズン。…とにかく、じっくり ゆっくりウォッチングしながら“森歩き”を楽しみます。

見どころ

- 【①屋久杉原生林】 一度は訪れたい屋久島を代表する屋久杉原生林。その2大屋久杉聖地の一つ『ヤクスギランド』へ。人があまり訪れない秘密のエリアにも…「もののけ姫」が舞台となった、圧倒的な屋久杉の迫力と美しく苔むした林床など、これぞ屋久島！という景観。
- 【②亜熱帯の野生王国】 屋久島の世界遺産は、島の中央部だけではなく、島の西部に唯一残された貴重な亜熱帯の世界・海岸線から山岳部にかけての『西部照葉樹林』。ガジュマルやアコウの巨木が生い茂り、オオタニワタリが着生しまるでジャングルのよう。またヤクザルやヤクジカなどの住処でもあり、無人地域で屋久島の中で、最も野生動物の生息密度が高いエリア。さらに素晴らしい展望もあるオススメコース！
- それぞれ5km程度のハイキング。イメージとしては低山登山。でも、それぞれ1日かけて、のんびりとウォッチングしながら歩きます。
- 世界遺産以前からエコツアーを実施してきたエキスパート自然ガイドが案内



神々しい迫力の屋久杉



ジャングルのようなガジュマルの森

- ①千歳(朝)→羽田→鹿児島(昼)→屋久島(午後)~里山散策
- ②島中央部 ヤクスギランドにて屋久杉原生林を終日ハイキング
- ③島西部 西部照葉樹林で亜熱帯王国を終日ハイキング
- ④散策&観光(午前)→屋久島→鹿児島(午後)→羽田→千歳(夜)

申し込み・問い合わせ・・・自然フィールドたび倶楽部 (株)アートツアーズ内 担当 菊池聖子

TEL: 011-731-7000 FAX: 011-731-7011

パンフレットを送付させていただきます。気軽に問い合わせください

E-mail: s.kikuchi@arttours.co.jp